

取扱説明書 (保証書付)

AU-300



このたびは、ワイヤレスチューナーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意 必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグをコンセントから抜く

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。



専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



取付機器の
電源プラグを
コンセントから
抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

300MHz帯ワイレスシステムについて

■グループについて

- 同一場所で、複数のマイクを同時に使用する場合は1つのグループに統一します。(グループ1~4の中から1つのグループを選びます。)
- ・グループ1~3の中から1つのグループを選んでシステムを組めば、最大4波まで使用できます。
- ・グループ4は1波使用できます。

●受信周波数表

周波数 (MHz)	グループ / チャンネル番号			
	グループ 1	グループ 2	グループ 3	グループ 4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

■チャンネル呼称について

例

C 1 3
 ⋮ ⋮ ⋮
 a b c

Ⓐ ……300MHz帯を表わす

Ⓑ ……グループ番号を表わす

Ⓒ ……グループ内のチャンネル番号を表わす

各部の名称と説明

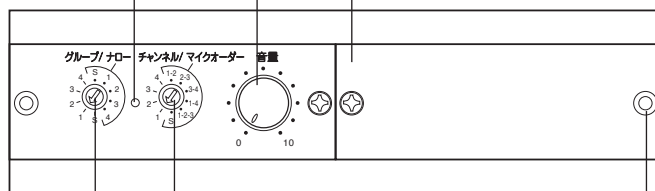
音量調節つまみ

アンテナ受信表示灯

電源が入りますと赤色に点灯します。
電波受信時は緑色に点灯し、受信して
いないときは赤色に点灯します。

ブランクパネル

別売ワイヤレスチューナーユニット
SU-3000Aを組み込むことができます。
P6の「SU-3000Aを追加する場合」の説明を
ご覧ください。



取付穴

チャンネル設定スイッチ

使用するワイヤレスマイクのチャンネル
番号と同じ数字に設定してください。
P7の「周波数設定のしかた」を参照。

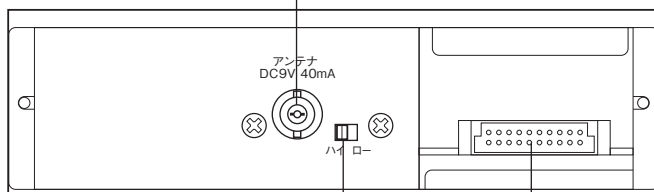
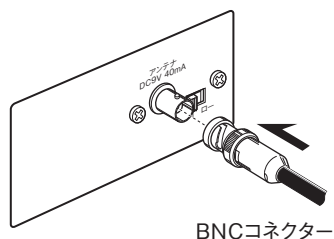
グループ設定スイッチ

使用するワイヤレスマイクのグループ
番号と同じ数字に設定してください。
P7の「周波数設定のしかた」を参照。

各部の名称と説明

ワイヤレスアンテナBNCコネクター

ワイヤレスアンテナを接続します。
接続には必ずBNCコネクターをご使用ください。
P8の「アンテナ設置について」をご覧ください。



接続コネクター

本機をユニット挿入口に装着し、軽く押し込みますと、挿入口内部のコネクターに接続されます。P5の「組込方法」参照。

アンテナ感度切換スイッチ

ワイヤレスチューナーユニット組込時、アンテナの感度を使用状況に合わせてハイ／ローを選択してください。出荷時のスイッチ設定は"ハイ"(従来性能)になっていますが、1)～4)の場合は"ロー"に切り換えて感度を落としますと、混信を防ぐことができます。

- 1) 他のグループのマイクを近接場所(30m以上離れた場所)で同時に使用する場合。
- 2) 同一グループのマイクを近接場所(100m以上離れた場所)で同時に使用する場合。
- 3) 受信アンテナの設置場所によって、マイクが2m以内の距離に接近する場合。
- 4) その他、電波障害による混信がある場合。

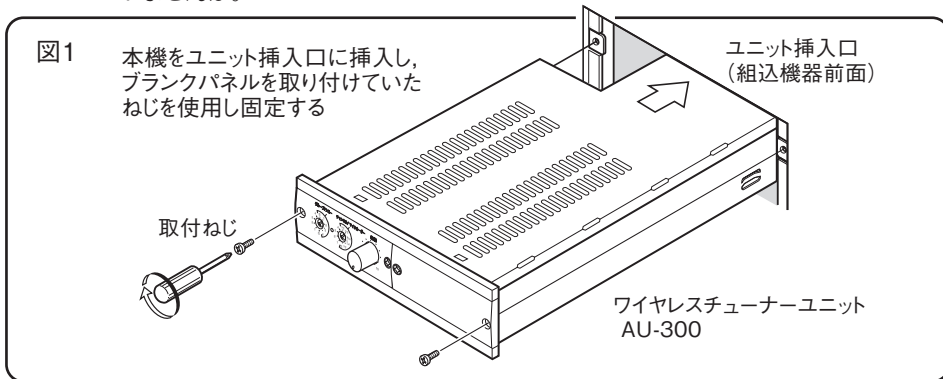
ご注意…アンテナ感度切換スイッチを"ロー"に切り換えた場合、ワイヤレスマイクの通達距離は1/2～1/3に減少します。

組込方法

警告 取付作業をおこなう場合は必ず、組込機器の電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 本機を組み込む機器の前面のユニット挿入口と後面のアンテナコネクタ部の両ブランクパネルを各々2本の取付ねじをはずし取り除いてください。はずしたねじ(M3×8)は本機を固定するときに使用しますので紛失しないようご注意ください。
2. 本機を組込機器前面のユニット挿入口に挿入し、本機前面の両端に貼られているテープを取り除いたあと、軽く押し込んで本機の接続コネクタを挿入口内部のコネクタに接続してください。
3. 本機を「1.」ではずした2本のねじで固定してください。(図1参照)
4. 本機後面のワイヤレスアンテナBNCコネクタにアンテナを接続してください。

- ご注意**
- 本機をねじで固定する前に、必ず本機後面のコネクタが組込機器側のコネクタに確実に接続されているか確認してください。確認事項は以下のとおりです。
 - ・ 本機前面パネルと組込機器の挿入部周辺が同一面に揃っていますか。
 - ・ 本機後面のパネル(アンテナコネクタ部)が組込機器後面の角穴部からずれていませんか。



SU-3000Aを追加する場合

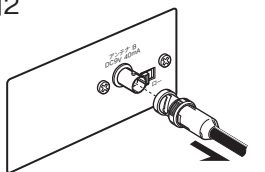
警告 機器の接続・組込・初期設定の調整・変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事店に依頼してください。

1. 本機後面のワイヤレスアンテナBNCコネクタをはずしてください。(図2参照)
2. 本機の取付ねじ(2本)をはずし、本機を組込機器から取りはずしてください。
3. 本機の上面カバーとブランクパネルをはずしてください。(図3参照)
4. 本機内部のユニット固定金具をはずしてください。(図4参照)
5. 本機前面のチューナーユニット挿入口よりSU-3000Aを挿入してください。
6. 本機内部の4Pコネクタと同軸コネクタをSU-3000A後面にある各コネクタにしっかりと接続してください。同軸コネクタは保護チューブをはずし接続してください。(図5、6、7参照)
7. SU-3000Aを「3.」ではずしたねじで固定し、「4.」ではずしたユニット固定金具を取り付けてください。(図8参照)
8. 「3.」ではずした上面カバーをもとどおり取り付けてください。
9. 本機を「2.」ではずしたねじ(2本)で組込機器に固定し、後面のワイヤレスアンテナBNCコネクタをもとどおりに接続してください。

SU-3000Aを追加する場合

警告 機器の接続・組込・初期設定の調整・変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事店に依頼してください。

図2



BNCコネクターをはずす

図3

上面カバーを矢印の部分からはずす

ブランクパネルをはずす

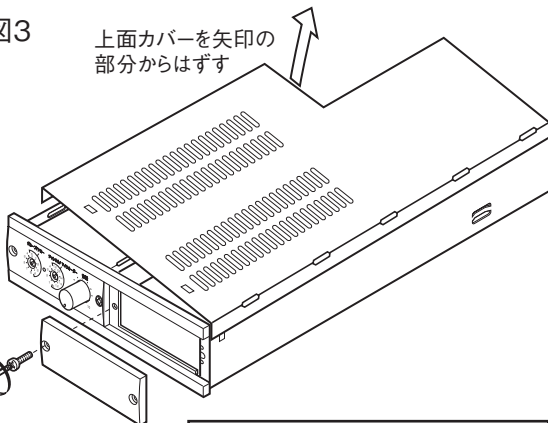
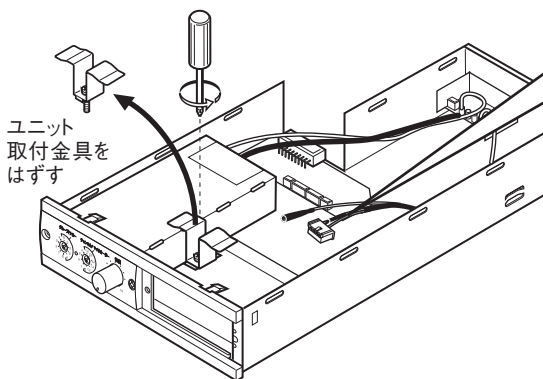
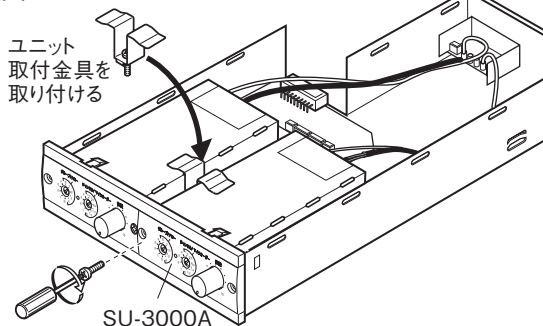


図4



ユニット取付金具をはずす

図8

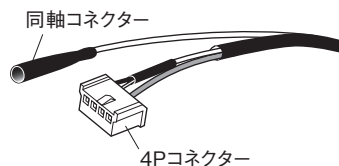


ユニット取付金具を取り付ける

SU-3000A

SU-3000Aをユニット挿入口に挿入し、ブランクパネルを取り付けていたねじを使用し固定する

図5

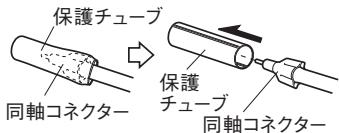


同軸コネクター

4Pコネクター

図6

同軸コネクターの保護チューブをはずす

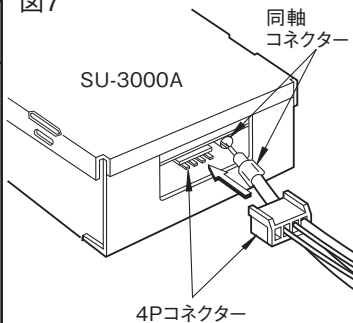


保護チューブ

保護チューブ

同軸コネクター

図7



同軸コネクター

SU-3000A

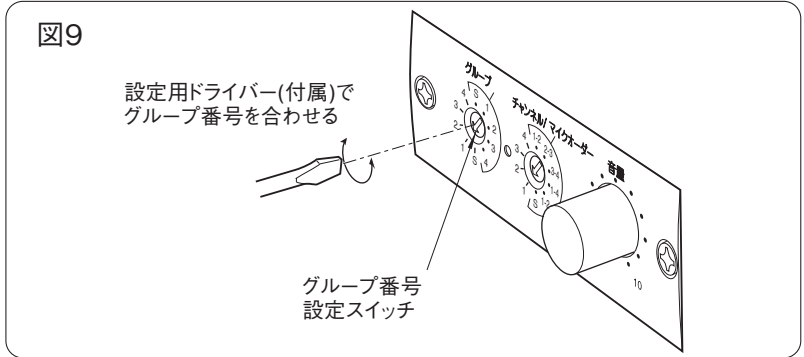
4Pコネクター

周波数設定のしかた

- グループ／チャンネル設定スイッチを切り換える場合は、付属の設定用ドライバーを使用し、スイッチを回転させてください。(図9/10参照)

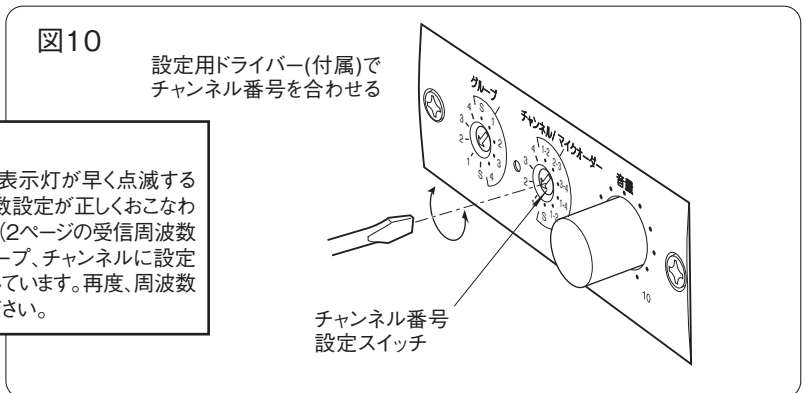
1.グループ番号を設定する

グループ設定スイッチの矢印を設定したいグループ番号(1/2/3/4)に合わせます。(図9参照)



2.チャンネル番号を設定する

次にチャンネル設定スイッチの矢印を設定したいチャンネル番号に合わせます。(図10参照)



ご注意

アンテナ受信表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくおこなわれていないこと(2ページの受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。再度、周波数設定をしてください。

◎出荷時、グループ/チャンネル番号はC11(322.050MHz)の設定です。

- ご注意..
- 受信機とマイクは、同じ周波数(グループ/チャンネル)に設定してください。
 - 同時に使用するマイクは、全て同じグループにして、全て違うチャンネルに設定してください。(受信周波数表を参照)
 - 1ヶ所で同時に使用できるチャンネル数は2ページの「300MHz帯ワイヤレスシステムについて」の項を参照してください。

アンテナの設置について

- ワイヤレスアンテナを設置する前に、あらかじめアンテナを仮設し、ワイヤレスマイクの移動範囲内で受信テストをおこないデッドポイントが最も少ない所を選んでください。
(ワイヤレスアンテナ AA-300シリーズの取扱説明書参照)
- 雑音や妨害電波を避けるため、下記のような機器(場所)の近くには設置しないでください。
高周波乾燥機、高周波医療設備、電気溶接機、ブラッシングモーター、デジタル機器(コンピューター・電子楽器)、自動車(道路)、静電式空気清浄器など。
- 同軸ケーブルについてご注意……
アンテナを接続する前に、同軸ケーブル配線がショートしていないことを確かめてください。
ショート状態で電源スイッチを入れると機器を傷めることがあります。

◆ワイヤレスアンテナAA-300シリーズを設置される場合

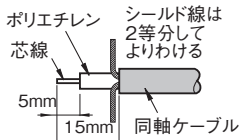
- 同軸ケーブルとBNCコネクターの接続、またはアンテナに直接ねじ止める場合は完全に接続がおこなわれていないと、高周波損失を招き電波伝送に大変悪い結果をもたらします。充分ご注意ください。
- アンテナと本機との距離が長くなりますと、減衰が大きくなり受信状態が悪くなります。右記表を参考にして、使用する同軸ケーブルをお選びください。

使用可能同軸ケーブル	3C-2V	5C-2V	5C-FB
延長可能距離	約25m	約40m	約80m
使用コネクター	BNCコネクター		

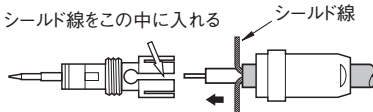
◆BNCコネクターと同軸ケーブルの接続のしかた(例)

- 同軸ケーブルの処理具合により受信性能が大幅に変わります。下記の説明に忠実にしたがってください。また同軸コネクターは性能の良いBNCコネクターを使用してください。

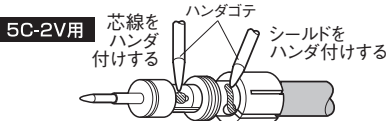
1 同軸ケーブルの末端処理



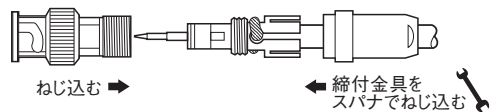
2 芯線とシールド線を挿入



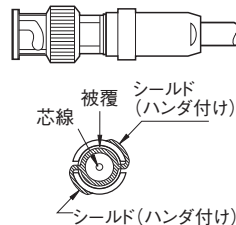
3 芯線とシールド線をハンダ付けする



4 接続スリーブと締付金具をねじ込む



5 完成状態

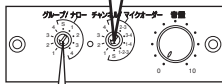
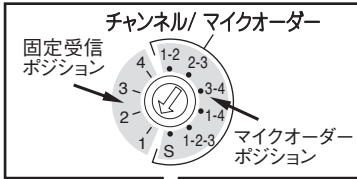


ご注意 ポリエチレンが溶けないように素早く芯線をはんだ付けてください。

マイクオーダーについて

- ・ 本機は1本のマイクに対して専用のチャンネルを固定して受信する設定と、任意の複数チャンネルを選択して受信する「マイクオーダー」の設定が可能です。

チャンネル設定スイッチ



グループ設定スイッチ

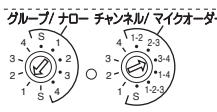
◆マイクオーダーのチャンネル組合せ表

グループ設定スイッチ チャンネル設定スイッチ	1	2	3	
マイクオーダー ポジション	1-2	C11 C12	C21 C22	C31 C32
	2-3	C12 C13	C22 C23	C32 C33
	3-4	C13 C14	C23 C24	C33 C34
	1-4	C11 C14	C21 C24	C31 C34
	1-2-3	C11 C12 C13	C21 C22 C23	C31 C32 C33
S	C11 C12 C13 C14	C21 C22 C23 C24	C31 C32 C33 C34	

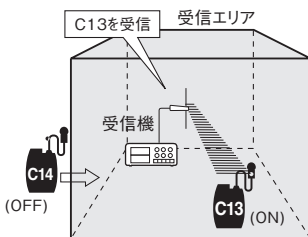
◆「マイクオーダーポジション」とは？

- ・ チャンネル設定スイッチをマイクオーダーポジションに設定しますと、グループ内の複数(2~4)チャンネルのワイヤレスマイクを受信することができます。
- ・ 最大4チャンネルの受信が可能です。最初に使用(電源スイッチ「ON」)したワイヤレスマイクのチャンネルを優先し、受信します。
- ・ 受信中マイクの使用が終わり(電源スイッチ「OFF」)次第、設定されたチャンネルのマイクが受信可能になります。
- ・ 受信可能なチャンネルの組み合わせは上記のマイクオーダーのチャンネル組合せ表をご覧ください。またグループの設定は「1/2/3」のいずれかに設定してください。「4/S」には設定しないでください。

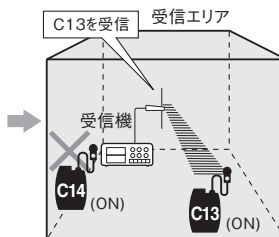
マイクオーダー運用例



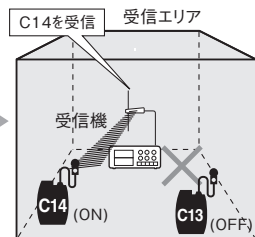
- ・ グループスイッチの設定……………1
(または2, 3のいずれか)
- ・ チャンネルスイッチの設定……………3-4
(または1-2, 2-3, 1-4, Sのいずれか)



① ワイヤレスマイク(C13)を受信中



② ワイヤレスマイク(C13)を受信中
ワイヤレスマイク(C14)は使用不可



③ ワイヤレスマイク(C13)は使用終了
ワイヤレスマイク(C14)を使用すると受信開始

ワイヤレスマイク音声を優先に変更する場合

警告 機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事に依頼してください。

●本機のワイヤレスマイク音声で組込機器(本体アンプ)側のオートフェーダー回路を働かせる設定に変更する場合は、本機内部の-slot基板上的ジャンパーピンを優先側に差し換えてください。ワイヤレスマイク使用時、組込機器側の入力の音量は自動的に減衰します。

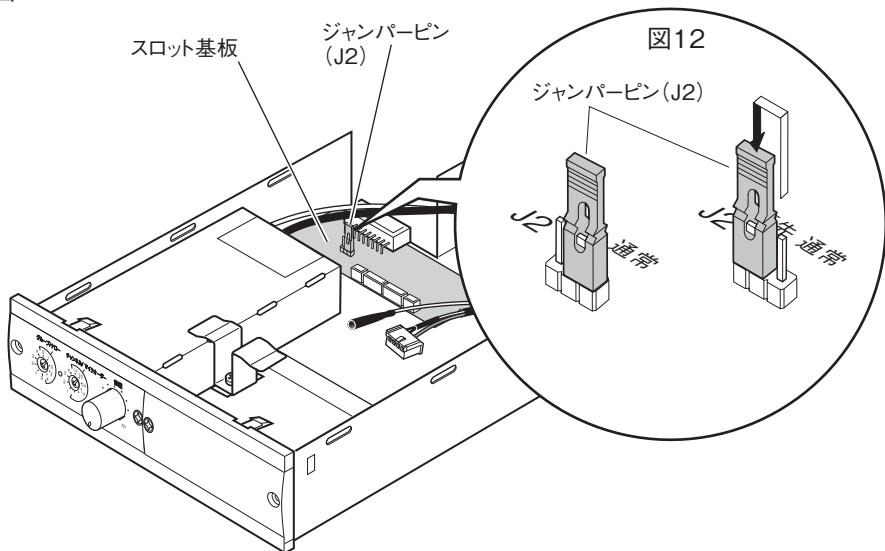
※オートフェーダー回路についての詳しい説明は組込機器の取扱説明書をご覧ください。

■ジャンパーピンを優先側に差し換える場合

◎本機を既に機器に組み込まれているときはP5の「SU-3000Aを追加する場合」の手順「1」「2」を参考にして本機を組込機器より取りはずしてください。

- 1.本機の上面カバーをはずしてください。
- 2.本機内部の-slot基板上的ジャンパーピン(J2)を差し換えてください。(図11、12参照)
- 3.「1」ではずした上面カバーをもとどおり取り付けてください。
- 4.P5の「組込方法」の説明をご覧ください、本機を機器に組み込んでください。

図11

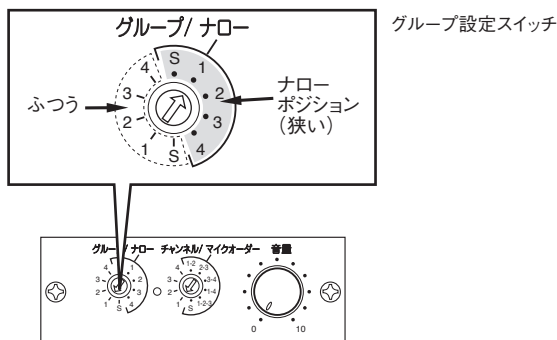


ご注意 ジャンパーピンを接続しませんでしたと音声が出力されません。ジャンパーピンを紛失しないようにご注意ください。

ナローポジションについて

◆グループ設定スイッチを「ナロー」側でグループ番号を設定する場合

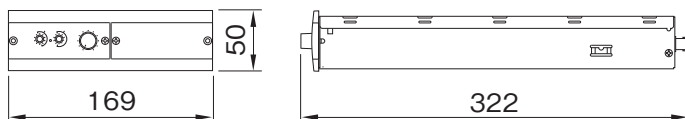
- ・ 本機を使用中に、近隣で使用するワイヤレスマイクが混信するとき、または混信の恐れがあるときに設定してください。受信感度を抑え、混信を防ぐことができます。



定格

使用電源	DC 12V 組込機器本体より受電
消費電流	200mA以下 (増設チューナーユニットを含む)
受信周波数	322.025MHz~322.150MHz, 322.250MHz~322.400MHz (25 kHz間隔 13波)
受信方式	PLL制御スーパーヘテロダイン方式
受信感度	20dB μ V以下
受信表示	2色発光ダイオード 待機時 (赤)、受信時 (緑)
定格出力	-22dBV
ひずみ率	3%以下
周波数特性	50Hz~7kHz(50 μ s エンファシス)
使用温度範囲	0°C~+40°C
寸法	幅169mm、高さ50mm、奥行322mm
質量	約 1.1kg
付属品	取扱説明書(保証書付)1、設定用ドライバー1
適合品	300MHz帯ワイヤレスチューナーユニット SU-3000A

外観寸法図
(単位:mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードに
アクセスしてください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX お客様ご相談センター

0120-56-5245

通話料無料

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、

072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

ワイヤレスチューナユニット AU-300

保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 見本 様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 印 電話() -

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)